

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポート教室「きらり」円座校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援スペースが広いこと	危険がないように毎日の清掃や消毒、必要に応じて配置の設定を変更している。 職員人数の変更やおもちゃや療育道具が増えた際には、配置換えを行いながらお子さんの過ごしやすい環境を整えている。	広いスペースの中でも怪我がないようにおもちゃの破損やお子さんの口に触れたものについては消毒を徹底していく。 運動スペースは虽然不是ないが、少しスペースが狭い。外の駐車場スペースでできなくはないが、車通りがあるため気を付ける必要がある。
2	お子さんのペースや気持ちに寄り添いながら保護者様のお話も取り入れつつ支援を行っている	児発管が家族支援にて相談を受けたり、担当者会議でのお話を聞いたりすることでニーズに沿った個別支援計画が作成できている。 指導員も支援後のフィードバックの際に事業所での様子をお伝えしたり、保護者様からのご家庭や学校での様子を教えていただき職員全体へ共有をしている、	ご家庭によっては、あまり相談を行えていないことやニーズを受け止めきれていないこともあるためしっかりと相互理解を深めていく。 個別支援計画を確認しながら支援プログラムの構成を行っていく。
3	運営面での説明がしっかりとできている	契約時に契約書類や重要事項説明書でしっかりと説明を行っている。虐待防止や身体拘束、安全計画の記載もしっかりと取り入れている。	校舎内での提示をしているが存在を知っている方が少ないため、わかりやすく掲示・案内できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングやイベントが少なく、事業所内で完結しているイベントことが多い	イベントの開催が少ないことや一部の利用者様のみの提案となってしまうこと	父母の会や地域の交流イベントができるようにイベント企画をしていく必要がある
2	避難訓練等必要な情報を事業所内で行っているが、保護者様へ伝わっていないこと	月に1回、個々の利用者様に避難訓練をすることを伝えて実施しているが、していない方もおり避難訓練を実施したことをフィードバック時にしか伝えていないため周知される機会がない	避難訓練を実施したことを分かるように掲示を行う
3	職員の少なさと利用希望の多さの需要と供給が伴っていない	人が辞めたり、体調不良が続き最低人員での運営となり、10名定員での運営が多い状態。 卒業をするお子さんが少ない。	職員の安定を図り、15名定員を作れる日を増やしていく。 卒業するお子さんの抽出や卒業に向けての目標を探していく。 キャンセル待ちの制度からお休みが出た際にはすぐに連絡をして入っていない日数を補っていく。

公表日

2026年2月14日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」円座校

利用児童数

50人

回収数：

36

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	2	0	0	運動が出来るスペースは足りないと思います。	十分な支援提供を行えておらず申し訳ございません。事業所のスペースが限られており、可能な範囲での運動療育の提供をまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	6	6	1	キャンセル待ちが多い以前より少なくなっており、増えることを期待します少ない日も多く児童によって対応出来る指導員が確保されていない日もある足りてない？感じがします少し少ないと思います。	ご利用のご希望をいただいている中、キャンセル待ちという形で利用日数の調整をしていただきありがとうございます。実際にはご案内できていない日やお断りをする面があり申し訳ございません。人事採用の強化をするように人事の方へ伝えるようにいたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	3	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	2	0	0	部屋の中は綺麗にされているが、時計の時間が合っていないかたたり手洗い後のペーパーが補充されていない事が何度もあった。	毎日清掃はしておりますが、途中途中の備品の整備ができていないため確認するように努めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	3	1	1	専門的な知識を持った方が多く、子供の受け入れもいいように感じる特性を理解されていない指導員が多い指導員の方の指導スキルがやや低いと感じる時があります。	ご納得いただける支援を提供できるように努めてまいります。ご希望されている支援提供ができておらず申し訳ございません。お子様のことを十分に理解できていない部分に関しては、ご家族様にご協力していただくことがあるかと思ひます。また、職員一人ひとりの専門性のスキルの向上のため研修や勉強会などを積極的に参加していきながらお子様の支援に反映してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	2	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	34	1	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	3	0	1	より具体的な内容を記入して欲しい	ご納得いただけていないままの状態ですサインをいただけてしまい申し訳ございません。きちんとご説明を差し上げた状態でサインをいただくか、ご納得いただけていない場合には修正いたしますので、児童館の方へご相談をいただきますようよろしくお願い致します。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	6	1	2	子供の反応に合わせ適時対応して頂いている他の利用者は分からないが私の子供の場合、固定化される事の方が多い	お子様の支援課題によって、プログラムの作成を行っております。コミュニケーションやその日の課題に合わせた取り組みを大切に、お子様が達成感を感じて帰っていただけるように努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	19	7	特に交流の希望はない	お子様の支援課題によって、プログラムの作成を行っております。コミュニケーションやその日の課題に合わせた取り組みを大切に、お子様が達成感を感じて帰っていただけるように努めてまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	2	0	1		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	6	5	6	児童発達管理責任者には聞けるが、保護者から指導員に伝える事が多いので保護者が指導員に聞けるようになって欲しい	ご相談の際に必要な応じて情報提供や研修会のご案内等はさせていただいております。ペアレントトレーニング等の研修がある際には、指導員の方に提示するようにします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	31	2	1	2	保護者に話していない内容もよく聞き出して頂き共有してくれる不足する部分が多い	支援で怒ったことに関しては、情報提供として支援内容の振り返りを行っております。支援の内容やお子様の状態をお伝えする際に、十分な説明ができておらず申し訳ございません。支援記録のお渡しやフィードバックでの保護者様への問いかけをさせていただき、ご不足しないように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	3	1	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1	1	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	10	11	10		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	2	2	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	10	0	10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	6	3	7	出入り口の鍵は常に開いている状態なので簡単に出入りが可能な為、防犯対策はどうしているのか分からない	身体拘束や避難経路の確保のためお子様の出入口は開錠しておりますが、職員の出入口に関しては施錠をさせていただいております。ご不安があればご相談ください。また、防犯については、地域の警察署の方に来ていただきご指導いただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	3	5	14	いつしているのかは知らないまま	毎月、避難訓練の実施をしており、ブログにて公開しております。また、靴箱の横の壁に防災訓練実施の報告書を提示しております。ご確認よろしくお願い致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2	0	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2	0	10		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33	3	0	0	長年通っている事によっての安心感はあるが、指導員との意思疎通が上手くいかない時もある	コミュニケーションや人間関係において、大切に思ってくださいにもかわらず、利用に際しての不安を感じさせてしまい申し訳ございません。長年通ってくださっていることでの安心感を損なわないように今後とも真摯に向き合ってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	3	0	0		

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	31	4	1	0	<p>いつも話を聞いてもらって親も子供も自分の気持ちを整理したり、これからのことを考える事ができています。ありがとうございます。これからもお手数をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。利用者の特性について理解出来ている指導員は何人いますか？事業所で働きだして数年経つ指導員が未だに具体的にではなく抽象的に伝えていたり、支援に必要な準備不足が目立つ指導員もいます。いつになったら改善しますかいつも親身に相談に乗ってくださり、本当に有り難うございます。指導員の人数不足や、指導スキルがやや低いと感じることもあります。が、こどものペースに寄り添った支援をして頂いてますし、一生懸命指導して下さい様子も伝わってきますので、概ね満足しています。</p>	<p>お子様の成長やお子様にかかわることを一緒に考えていき、十分な社会参加につなげていけるよう努めてまいります。</p> <p>利用者様の特性について、十分な理解ができておらず申し訳ございません。校舎内で話し合いを行い、色々な視点からお子様を理解できるように努めてまいります。</p> <p>また、社内の研修で発達研究所が主催している研修もありますので、参加や相談の機会を設けます。</p>
-----	----	------------------	----	---	---	---	---	---

## 公表

## 事業所における自己評価結果

2026年2月14日

事業所名	こどもサポート教室「きらり」円座校	従業員数	5	回収数：	5
------	-------------------	------	---	------	---

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善が必要だと思われる点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		放デイや就学準備をしている児発の空間と未就学児とのスペースを分けている。 個室スペースが確保されている。 最大同時4支援が可能なスペースがある。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国が定めている定員数と配置基本人員数は満たしている。	同時支援の際に事務スペースにスタッフがいないことがある。 もう少し増やしたらもっと余裕をもって支援ができる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援スペースと遊び支援スペース、事務スペース、相談支援スペースに分かれている。 課題や学習などに取り組むスペースと、教材や玩具などがあり自由に遊べるスペースを分けている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃はしている。 空気清浄機を設置し、常時換気を行っている。	備品が切れていることや支援途中での汚染などに気づかないことがある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室空間を2か所作っており、閉じ込めや閉じこもりにならないようにドアのみ外している状態。 個室が2部屋あり、必要に応じて使用可能である。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		MTGや振り返りを行い、支援内容の充実や情報共有を行っている。	PDCAサイクルをあまり取り入れていない
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年事業所評価を行い、保護者様の意見を回覧方式で確認する機会を設けている。 毎年事業所アンケートを実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		MTGを1週間の中で話題を決めて行っている。 MTGを実施している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		内部監査で他のユニットの方の介入がある。	第三者評価は行っていない(重説に説明あり)。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修(法廷研修・専門職について・年数での研修・発達研究所研修)がある。 社内でもテーマ研修や事例検討会など様々な研修を実施している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年に1度行っている。 保護者に説明する際に使用している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援でのアセスメント・保護者への聞き取りもしている。	ニーズがずれていることがある。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリングを児発管と指導員で行っている。	意見のずれがある。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		MTG等で検討したり、個別支援計画を回覧にて回して全員見る機会を設けている。 全ての計画を回覧して共有している。	支援の都度見ることはできていない。



適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		年に一回学年が変わるタイミングでアセスメントシートの記入を行っている。 毎年アセスメントシートを実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者様への聞き取りや担当者会議に出席して計画作成を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		MTG等で話し合いをしながらプログラムの提案をしたり、引継ぎをしたりしている。	固定の担当利用者について支援や認識が偏ってしまう可能性があるため考えていく必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々の支援の来所時やフィードバック時に指導員や保護者と話し合いをして必要な支援についての検討を行っている。	場合によっては固定化されてしまうことがあるため、利用者全体を考えていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には個別支援ではあるが、同時に同じぐらいの年齢と組み合わせたり、共通の課題があるお子さんを集団支援になることもある。 必要に応じて集団活動を行っている。 個別の需要が多い。	集団支援が必要であれば、工夫していく必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		MTGを開くようにはしている。 MTGや引き継ぎなどで実施している。	毎回行えていない。 業務状況に応じて十分でない場合がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		個々の職員では行っている。 MTGで実施している。	職員全体共有はできていないことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は書くようにしており、必要に応じて保護者様へもお渡ししている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	○		1時間の中で4つの活動を時間で区切ったり、比によって変えたりして取り入れている。 自立支援や創作活動、余暇支援に取り組んでいる。	地域交流の機会の提供には取り組む機会がないため、ニーズや機会に応じて取り組んでいきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		本人のしたいものを持参してもらったり、行う活動を本人と一緒に決めたりして自己決定をするように促している。 意思決定を重んじ、選択が難しいお子さんには選択肢の提示や視覚的支援での補助を行っている。 いくつか用意した課題の中からこどもが選択する場面を作っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管と指導員が参加している。 児発管や担当指導員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて提案を行ったり、保護者の方から依頼されたりしている。 必要に応じて学校との連携を行っている。 学校機関連携をする機会が増えていて家族支援にも繋がっているため継続する。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		お子さんが学校行事の予定表を持参してくれたり、必要に応じて連絡帳でのやりとりをさせていただいているお子さんもいる。 テスト期間や行事などの予定を把握しながら行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて提案させていただいたり、保護者様からの依頼で行っている。 就学時には行う場合がある。	必要なことが少ない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて提案させていただいたり、保護者様からの依頼で行っている。	要望が少なく、あまりしていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。		○		設けられていない。 スーパーバイザーや助言等を受ける機会がない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	合同イベントの際に行っている。	校舎でのイベントはほとんど行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	参加の案内は来ている。	参加していない。 自身は参加したことがない。 協議会等への知見を広め参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックの時間を最低10分は取るようにしている。 フィードバック時に普段の様子や学校でのことをお伝えいただき、共通認識が持てるように心がけている。	指導員と保護者との認識が違う場合や夫婦間で意見が違う場合がある。 どちらかに偏ることなく一人一人としっかり向き合っていく。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所内相談にて実施。	ペアレントトレーニングの資格を有している職員がいない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に契約書や重要事項説明書で行っている。 毎回契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		本人のしたいものを持参してもらったり、行う活動を本人と一緒に決めたりして本人の気持ちの確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリングから本計画まで説明し、サインをいただくようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援1-3を取る機会が多い(希望に応じて)。 事業所内相談や支援後のフィードバック等で実施。 事業所内相談や子育てサポートを通して必要に応じて行い支援にも反映している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族支援1-3を取る機会が多い(希望に応じて)。 集団支援の際の保護者同士の交流や同じ悩みを持つ保護者同士で交流する機会を設けている。	イベントとしての父母の会は行っていない。 特定の方のみや兄弟同士の交流する機会はない。
	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いつでも話しやすい環境を作ったり、次月の予定を聞く際に希望を聞いている。	定員数の関係で見学や体験のみになっている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に2回ブログ更新をしたり、インスタグラムを開設したりして、更新時に掲示板へお知らせしている。 教室での様子をブログで紹介したり、全体への連絡事項はLINEで共有したりするなどを行っている。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	PCや書類を鍵付き書庫に保管している。 SNS(Instagram)を始めたため、肖像権についても注意している。 制作物についても保護者様へ確認を取ってからの投稿を行っている。	机の上の個人情報については片付ける必要がある。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	本人との話し合いや実際に見せたりしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	あそび博のイベントで行っている。	年に1度の校舎合同イベントでは行っているが、校舎単体のイベントはない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルは事業所掲示板に掲示している。訓練については、各お子様へランダムで毎月実施している。 法定研修にて行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	社内での法定研修が行われている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	年に1回情報シートの更新を行っている。 受付シートにて記入している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食品提供を行っていない。	医師による直接的な指示書はない。飲食の支援は行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	社内での法定研修が実施されている。 研修等で実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時に契約書や重要事項説明書に記載している。	安全計画の内容の周知が職員・保護者全体にできていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットや事故報告書作成を行い校舎内回覧後、会社全体へ周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	法定研修・委員会を開催している。 法定研修にて実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	計画に記載している。身体拘束を行った場合にはお迎え時に説明や身体拘束報告書作成を行っている。	